

◆謹賀新年

会員皆様のお陰を持ちまして、当会も事業の拡大と充実を果たし、新しい年を迎えることが出来ました。紙面を借りて御礼申し上げます。今年も良い年となります様に、会員皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

◆荒川会長佐世保市訪問

十二月十二日、長崎市の紹介にて長崎県佐世保市を訪問し、市長に面会。遊休地の活用と地産地消型エネルギーオイルを生むジャトロファ植物の説明を行った。



◆沖縄にエコプロ設置

十二月十七日、沖縄うるま市の地域活動支援センターに待望のエコプロを設置した。このNPO法人うるま市の健康を守る結の会は、これまで集めた廃食油をメチルエステル化法で処理していたが、採算及び効率が悪かった為、昨年より代替を検討していた。



◆沖縄、定植10ヶ月で結実成長の早さにびっくり

十二月十八日、佐藤商事



役員、並びになでしこファミリー荒川会長及び理事は、エコプロを設置後、うるま市の伊計島の栽培地を視察した。昨年二月に定植したものが既に二m以上に、皆ジャトロファの成育の早さに驚かされた。



沖縄本島では、宮城理事の推進により昨年二月よりジャトロファをつるま市はじめ、数ヶ所にて試験栽培を開始した。本年も挿し木により新植を予定。まさに地域社会におけるエネルギー



地産地消の挑戦が始まりました。

◆各理事、沖縄社屋前にて記念写真

十二月十八日沖縄本島、沖縄物産企業連合社屋前にて、佐藤商事齋藤取締役、小野部長、荒川会長、河原理事、宮城理事が記念撮影。



◆佐藤商事村田社長、八丈島町訪問と当会名誉会長に就任

十二月二十四日八丈島に、佐藤商事村田社長が現



地視察、町長の歓迎を受けました。又、同行した荒川会長より当会名誉会長に推薦、快諾を受けた。

◆佐藤商事環境S部新設

佐藤商事は、一月五日に環境ソリューション部を新設、待望の環境事業に進出することとなった。新部長は、開発部より小野部長が就任した。

■連載

ジャトロファ栽培の概要 (その一)

- 播種量 一七〇g (四五〇粒) / 一〇ルが最低必要。苗または挿し木を育て、一五〇本 / 一〇ルを定植する。
- 一〇ル当りの栽培本数を一五〇〜三〇〇本J/m²。
- ジャトロファは、開花後四〇日で結実収穫、連続開花結実が可能。
- 成木一株から得られる年間果実数量三五〇〇個 (種子数量約一万個) 種子重量七kg。
- 一〇ル当りの収量：一五〇本 × 七kg = 一〇五〇kg (一ヘクタール当りの収量一〇t)。